

第4回 北信越体育・保健体育ネットワーク研究会報告



～トキめき新潟ラウンド・

みんなで考えよう！これからの授業づくり～

次期学習指導要領に向けての協議が進み、その情報が学校現場に入ってきています。今までの体育授業と何が変わるのか。これから求められている体育授業とはどのようなものなのか。今の自分の授業を振り返りながら、体育授業のマイナーチェンジを図るヒントを得ることができる会を開こうと考えました。当日は、31名の先生方が参加しました。新潟県内だけでなく、岩手、宮城、山形など遠方からの参加もありました。

今回のラウンドは、高橋修一先生、佐藤豊先生から、話題を提供していただきました。その提供された話題から小グループでのシェアリングという形で進められました。体育授業において新指導要領で求められている資質・能力をどのように培うかやICTの有効に活用するにはどうすればよいかなど、参加者の授業をベースに話し合われました。小・中・高・大と各校種が混在する形でグループを作り、意見交換をしました。

1 期日 平成27年9月26日（土） 13:30～16:30

2 場所 パーティールーム「プラスサード（plus 3rd）」

3 内容

【話題提供1】

『中央教育審議会の動向』 高橋 修一 （国立教育政策研究所調査官）

次期学習指導要領について、「現行の学習指導要領とのつながり」「新しい時代の社会や子どもとのかかわり」「学習達成度調査結果と社会参画に関する意識を受けて」など、様々な面から、どのような学び方や学ばせ方が大切なのかを教えてくださいました。

高橋先生の話の後には、小グループごとに学んだこと、考えたことなどについて話し合い、シェアリングしました。



【話題提供2】

『体育の授業づくりとICT活用』 佐藤 豊 （鹿屋体育大学教授）

最近、よく耳にする「アクションリサーチ」「アクティブラーニング」「協同学習」「協調学習」などの言葉について、分かりやすく説明していただきました。

さらに、体育学習の「わかる」と「できる」について、技能・態度・知識それぞれの情報の出入力の流れを図で示していただき、自分の体育授業のよさや課題について気付かせていただきました。

また、体づくり運動のアプリについてお話していただきました。授業の中でどのように取り入れていくことによって効果が大きくなるかについて教えてくださいました。



【グループ討議】

『みんなで考えよう授業づくり《こんなことで困ってます》』

コーディネーター 脇野 哲郎 様（新潟市立下山小学校校長）

最後は、グループで自分の体育授業での悩みを話し、クリアするためのアイデアを出し合いました。

「学習課題のもたせ方」「個別指導を必要とする子どもへの対応」「ICTのより効果的な活用の仕方」などなど、たくさんの悩みが出されました。

校種間でそれぞれの考えを出し合い、交流させることで新たな考えに出会うことができた先生が多くいたようです。



次期学習指導要領の理解にとどまらず、自分の授業をどのようにマイナーチェンジしていくかについて考えることができました。また、校種や地域を超えてベテランから若手まで活発に意見交換し、互いに刺激し合った意義深い会となりました。